

平成 26 年度 第 208 回教育研究審議会議事要録

日 時 平成 26 年 7 月 8 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 20
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、江本事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、木原国際教育交流センター長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

配布資料 1 特任教員の選考について
2-1 スカラシップ制度の見直しについて
2-2 スカラシップ制度見直しプロジェクトの議論の報告について
3 北九州市立大学外国人留学生後援会へのご賛助のお願い
4 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第 1 号 特任教員の選考について

* 資料1のとおり、グローバル人材育成推進室の特任教員1名の選考について提案。

- グローバル人材育成推進事業に係るデータ等の管理・分析を担当する特任教員について、第195回教育研究審議会（平成25年12月17日開催）において、平成26年度の更新を承認いただいたが、平成26年3月に入り、就職のため辞退した。このため、新たな採用について、承認をお願いするものである。任期は、平成26年8月1日から平成27年3月31日までとする。
- 候補者の現職に立命館大学客員研究員とあるが、本学に着任するまでに退職するのか。
- 7月31日付けで退職する予定である。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 （異議なし）

第 2 号 スカラシップ制度の見直しについて

* 資料2-1、2-2のとおり、各学部からの意見を踏まえ、改めてスカラシップ制度の見直しの修正案について提案。

- 第201回教育研究審議会（平成26年3月18日開催）で報告したスカラシップ制度の見直しについて、各学部からの意見を踏まえた修正案を改めて提案する。主な修正点は、最優秀賞の奨学金の額、交付方法、選考方法及び、表彰時期等である。また、新制度については、平成27年度入学生から適用することとし、平成26年度以前に入学した学生については、従来の制度を適用する。
- 新制度では、表彰時期との関係上、4年次の表彰は1年次から3年次の通算成績が評価対象となり卒業論文など4年次の成績が含まれないが、どのように整理しているのか。
- 奨学金の在学中における利活用等を図るためにも年度当初での表彰とした。
- 卒業論文を評価対象とした表彰制度を別途設けることなどを検討することは可能か。
- 全学での新制度と学部ごとの表彰制度との関係及び名称等について整理する必要があるが、各学部における裁量経費等の活用も含め、検討していただいて構わない。ただし、各学部で新たに表彰制度を設ける際には、事前に事務局と調整してほしい。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 （異議なし）

報告

- ① 外国人留学生後援会への賛助のお願いについて、資料3のとおり報告があった。
- ② 教員の海外出張について、資料4のとおり報告があった。
〔 外国語学部のロジャー・ウィリアムソン教授については、平成26年9月1日から1年間の出張予定である。同教授は国際教育交流センター副センター長の職にあり、改めて他の教員を早急に選考する必要がある。 〕
- ③ 次回の審議会を7月22日（火）に開催する予定である旨、報告があった。